

ジュニアリーダー講習会

新型コロナウイルス感染症対応ガイドライン

1 本ガイドラインの趣旨について

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症拡大の予防とジュニアリーダー講習会の両立を図る上で必要と考えられる対策を例示したものです。策定にあたっては「江戸川区子ども会連合会 新型コロナウイルス対応ガイドライン」を基にしています。

なお、本ガイドラインはあくまでも対応のベースとなることを想定しており、個々の対応については会場でのさまざまな場面を想定しながら、適切に行っていただきたいと考えております。

2 感染防止のための基本的な考え方

(1) 総論

感染防止の3つの基本である 身体的距離（最低1m、可能なら2m以上）の確保、マスクの着用、手洗いの実施を中心とした感染防止対策を行う。講習会中だけでなく移動中の感染防止についても注意を促す。

感染リスクの高い3つの密、密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、密集場所（多くの人々が密集している）、密接場面（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件を避けるための対策を講じる。（部屋の換気、対人距離の確保、活動内容の精選など）

(2) 今年度の活動について

令和3年6月から9月の期間に5回の講習会を行うこととする。なお、感染拡大等により東京都を対象とした緊急事態宣言や活動自粛要請等が発出された場合等、区子連と健全育成課が協議の上、実施を延期・縮小・中止する。

3 活動準備にあたって

(1) プログラムの作成にあたって

参加者同士の身体的距離（最低1m、可能なら2m以上）を出来るだけ確保できるように配慮した人数を上限の目安とする。体育館で同時に活動する講習生数の上限は80名とする。

屋内活動プログラムは感染予防に最大限配慮した上で実施する。特に室内で運動強度の高い活動をする際はより一層距離を空ける。また、連続して行わず、インターバルをはさみ、呼吸を整える時間を作る。

屋外活動プログラムは感染防止に配慮した上で、従来通り実施する。調理及び飲食を伴う活動については行わない。

対策に必要な物品（予備のマスク、手指消毒用アルコール、消毒用次亜塩素酸ナトリウムなど）は支給されるので、確認しておく。

活動中に体調不良者が出た場合の対応についてまとめ、スタッフに理解させる。

4 活動当日の対応

(1) スタッフ集合

スタッフ全員に感染予防対策について理解させる。
受付等に手指消毒用のアルコールを配置する。
必要に応じて、活動に使う物品を消毒する。
机、椅子等を配置する場合、できるだけ離れて座ることができるよう配慮する。
原則、窓等を開放し、常に換気を行う。

(2) 受付

スタッフはマスクを着用する。また、提出物を扱う場合、手袋を着用する。
参加者のマスク着用を確認し、手指消毒させる。
参加者の体調について確認する。健康調査カードを提出させ、必要な対応を行う。体温を測ってこなかった参加者の体温を測る。
受付で密にならないよう、距離を取って整列させる。
出席簿への押印は原則スタッフが行う。
受付後の子どもたちの動きに留意し、三密となりそうな場合、必要な指導を行う。

(3) 活動スタート

オリエンテーションで以下のことを伝える。

- ・マスクを着用し、咳エチケット等のマナーを守る。
- ・体調が悪くなった場合、速やかにスタッフに伝える。

共用する物品について、適宜消毒を行う。
常に換気ができない場合、活動場所の定期的な換気（一時間に10分程度）を行う。
近距離での会話や発声・合唱等は避ける。
活動中に体調不良者が出た場合、速やかに保護者に連絡をとり、受診してもらう。
その際、新型コロナウイルス感染症が疑われるという診断がされた場合、運営委員に連絡をしてもらうよう依頼する。運営委員は区子連事務局（江戸川区役所健全育成課 育成活動支援係 03-5662-0357）に報告する。

(4) レクリエーションについて

参加者同士の身体的距離を出来るだけ確保する。
必ずマスクを着用させる。熱中症等の対策で一時的に外す場合は、1m～2m以上の距離をとり、会話をしないよう促す
ハイタッチや握手などの身体的接触を避ける。
叫んだり、大声を出したりするようなレクを避ける。
指導者は大声を出す必要がある場面では、必要に応じてマイクを使う。
物を共有したレク（ボール・フラフープ等）をした後、物品や手指の消毒などを適宜心がける。
ホイッスルは笛型ではなく電子ホイッスルを使う。
運動強度の高い活動はより一層距離を空ける。また、連続して行わず、インターバルをはさみ、呼吸を整える時間を作る。

(5) 休憩時

「(4) レクリエーションについて」同様、感染防止に努める。
水分補給を促し、適宜共用物品の消毒をする。

(6) 活動終了時

参加者の体調を確認するとともに、実施日以降14日の間に発熱や咳、だるさ(倦怠感)、頭痛、腹痛(下痢)、体調不良等があった場合、速やかに主催者に連絡するように伝える。活動後は寄り道せずに、速やかに帰宅するよう伝える。

使用した物品を消毒する。

清掃の最後に机・イス・スイッチ・ドアノブなど利用者が触れたところを中心に、消毒する。

5 講習会参加者から感染者が出た場合の対応

講習会参加者から感染者が出た場合、保健所の指示に従い、適切な対応を行う。会場責任者は区子連事務局(江戸川区役所健全育成課育成活動支援係 03-5662-0357)に報告する。

参考 消毒方法

コロナ対策セット

消毒用アルコール	非接触型体温計
ピューラックス(次亜塩素酸ナトリウム)	空の容器(ピューラックス希釈用)
ペーパータオル	ゴミ袋
マスク	ゴム手袋

手指消毒...消毒用エタノール

物品の清拭...次亜塩素酸ナトリウム等で行う。次亜塩素酸ナトリウムで清拭する場合は適切な濃度に希釈した溶液を浸したペーパータオル等で拭き、乾いたら水拭きを行う。なお、行う際には家事用手袋を装着し、また十分に換気する。

【問い合わせ先】

江戸川区子ども会連合会事務局
文化共育部健全育成課育成活動支援係
〒132-8501 江戸川区中央1-4-1
電話：03-5662-0357